

平成15年度 知能機械情報学専攻

大学院修士課程入学試験問題

「専門論述」

試験日時：平成14年8月27日(火)13:00～14:40

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
2. 問題は問題1と問題2がある。全部に解答すること。
3. 問題の落丁、乱丁、あるいは印刷不鮮明な箇所があれば申し出ること。
4. 答案用紙は2枚配布される。枚数を確認し、過不足があれば申し出ること。
問題ごとに1枚の答案用紙を用いて解答すること。
答案用紙は表（おもて）面だけを使用すること。
5. 答案用紙の指定された箇所に、受験番号、科目名の「専門論述」、その答案用紙で解答する問題番号を記入すること。
記入漏れの場合は採点されないことがある。
6. 解答に関係のない記号や符号を記入した答案は無効となる。
7. 答案用紙は、解答ができなかった分も含め、2枚全て提出すること。
8. この問題冊子にも受験番号を記入し提出すること。

受験番号	
------	--

上欄に受験番号を記入すること。

問題 1

「パソコンが消える」などと言われているが、その技術的背景となるキーワード2つを選び、各々100字程度で説明せよ。またそのキーワードを用い、今後の計算機技術の向かうべき方向性について君の意見を述べよ。

問題2

君が修士論文で取り組みたい研究の内容についてその理由も含めて説明せよ。またその研究成果を社会に浸透させるための方法としてはどのようなものがあるか簡単に述べよ。